

国際会議から センサーネットワークに関する国際会議 (SENSORNETS 2018)

本会議は、センサーネットワークに関する国際会議であり、第1回が2012年にポルトガルで開催されて以降、毎年欧州の都市で開催されています。今回は、その第7回目の会議で、ポルトガルのファンシャルで開催されました(図1)。今回の会議では、大学関係者による学術的な話題を中心に25件の発表が行われ、鉄道関係の発表は筆者による1件でした。

会議では、センサーアプリケーションやホームモニタリングなどの6つのセッションに分かれて行われ、モデル化とシミュレーションのセッションにおいて、鉄道環境における無線センサーネットワークの設計に関する発表を行いました。発表に対しては、920MHz帯の使用理由やエネルギーハーベストへの取り組みなどについての質疑応答があり、センサーネットワークの専門家と有



図1 会場の
ヴィラ ガーレ サンタクルーズ



図2 質疑応答の様子



図3 マデイラ空港の滑走路

意義な意見交換を行うことができました(図2)。

セッションの合間に行われた基調講演では、筆者の発表で質

問をしてくださったFreiburg大学の教授による、エネルギーハーベストを始めとした省電力化などに関する発表があり、貴重な知見を得ることができました。

今回の開催都市であるファンシャルは、その美しい景観から「大西洋の真珠」とよばれるマデイラ島にあります。マデイラ空港は、1977年に発生した、山と海に囲まれた短い滑走路が原因で飛行機墜落事故が発生したため、70mの柱180本で滑走路を延長する拡張工事が行われ、海上に滑走路がせり出すという特徴的な外観になっており、銀河鉄道999のカタバルトレールのような姿が印象的でした(図3)。



岩澤永照
信号・情報技術研究部
ネットワーク・通信研究室
研究員

正式名称：7th International Conference on Sensor Networks
 開催国：ポルトガル(ファンシャル)
 期間：2018/1/22-24
 主催：Institute for Systems and Technologies of Information, Control and Communication
 開催頻度：年1回
 次回開催予定：2019年2月 チェコ
 ホームページURL：http://www.sensornets.org/